



## 社宅建設 公庫が融資 人材確保で興南施設管理

沖縄振興開発金融公庫（川上 好久理事長）は24日、興南施設管理（浦添市、屋良学社長）の社宅建設を支援するた

沖繩振興開発金融公庫（川上 好久理事長）は24日、興南施設管理（浦添市、屋良学社長）の社宅建設を支援するた

は、中小企業が生産性の向上を目的に設備投資などをする場合、事業計画を「経営力向上計画」として認定している。認定されると企業側は、計画に盛り込んだ設備や機械の固定資産税を3年間半分に軽減してもらえるほか、沖縄振興開発金融公庫などから金融支援を受けられる。全国では3万社以上が認定されており、県内では8月末時点で167件。

興南施設管理は上下水道処理施設やごみ処理施設の保守管理を受託しており、施設数は離島を含め25カ所。うち7カ所が本島北部にある。北部担当の従業員は50人以上いるが、現状では、中南部から長距離通勤をしたり、北部で民間アパートを探したりする必要があるという。

社宅は名護市宇茂佐に来春完成予定。駐車場付きの3階建てで10世帯が入居できる。経営面では、多額の交通費補助を削減し、社員の定着率向上に役立てる狙いがある。

## 興南施設管理に 1億4千万融資

沖縄振興開発金融公庫

沖縄振興開発金融公庫

(川上好久理事長)は24

日、環境保全施設の保守管理業務などを手掛ける興南施設管理(浦添市、屋良学社長)写真中央)に新事業活動促進資金を適用して1億4千万円の融資を履行したと発表した。同社は融資を活用して名護市内に住宅を建設する。

同社は県内全域で25カ所の施設を管理しており、本島北部地域には7施設がある。今後は施設管理に必要な人員の増加が予想される一方で、多くの従業員が中南部在住で長距離通勤をしているケースもある。住宅の建設で社員の負担軽減や人材確保などにつながることを期待される。

同社は企業の生産性向上の取り組みなどをまとめた「経営力向上計画」を策定した。2016年12月に国から計画を認定されたことにより、融資につながった。屋良社長は「社宅建設で社員の定着や人材育成につなげたい」と話した。

